

小平市議会定例会 一般質問通告書

質問の方式 2 一問一答方式

質問件名 高齢者が幸せに暮らせるコミュニティづくり

【質問要旨】

小平市では高齢化率が 22%を超え超高齢社会に入り、日中市内を歩いていると、お年寄りの姿がよく目に止まるようになりました。人口減少については当初予測よりも遅れ、子どもの数も微増していますが、高齢化の波は首都圏である小平にも確実に押し寄せていることを実感します。しかし、そのことを悲観的にとらえるのではなく、現実を受け入れてまちづくりに反映していくことで、小平に住む市民が幸せになることをめざしていかなければなりません。

この 4 月には介護保険制度が改正され、小平でも新たな介護保険事業計画が始まります。いっぽうで、市民活動支援センター、公民館、地域センターなどを活用した市民活動も活発化しており、自治会など従来からのコミュニティに新たな動きが加わり、充実化させていくための好機が訪れているのではと感じています。

高齢者を「お年寄り」として一括りにするのではなく、一人ひとりの経験や能力を活かしたコミュニティづくりの担い手として考え、地域の中で共に楽しく、生きがいのある老後を過ごすことができるようにするため、以下の質問をします。

- ① 高齢者の社会参加は健康づくりのためにも重要な要素であるが、コミュニティタクシーやコミュニティバスの走っていない地域での走行実現に向けて、市はどのような努力をしているか。
- ② 地域での高齢者を含むさまざまな人が集える居場所づくりに対して、運営費などの補助をすることはどうか。
- ③ 公共施設マネジメントにおいて、少子高齢社会でのコミュニティづくりという視点での公共施設活用をどのように考えているか。

上記のとおり、小平市議会会議規則第 57 条第 2 項により通告します。

2015 年 2 月 16 日 小平市議会議長 殿

小平市議会議員 氏名 日向 美砂子

受付番号【           】

26	25	24	23

— (        /        )